

木下誠也氏(愛媛大)に論文賞

建設マネジメント分野で表彰

木下誠也氏



土木学会(橋本鋼太郎会長)の建設マネジメント委員会(小澤一雅委員長)は1日、建設マネジメント分野での優秀な論文や取り組み事例などを対象とした表彰制度で、本年度の受賞者を決定した。論文賞には、木下誠也教授による「公共事業における建設コンサルタント業務の調達方式に関する国際比較研究」が選ばれた。

木下教授の論文では、欧米各国の動向から必要な対応を分析した上で、価格だけの競争ではなく、品質に基づく選定(QBS)方式を基本とするべきだと提案した。このほかの受賞者(カッコ内は所属先、敬称略)と取り組み・講演発表名は次の通り。

【グッド・プラクティス賞】三鷹市民センター周辺地区防災公園街区整備事業におけるプロジェクトマネジメント▼天満知生(大林組) II 国土交通省工一括発注方式の現状と課題▽島田伊浩(港湾空港建設技術サービスセンター) II 海上工事技術者の資格と教育について▽伊藤達也(熊谷組) II 自然由来重金属を含む掘削ずりの管理システム▽草柳満(東京都市大学院) II 災害初期の啓開における地域間連携の有効性の検討。

木下誠也氏(愛媛大)

木下教授の論文では、

ジェクトマネジメント

【優秀講演賞】久野暢彦(都市再生本部) II URの

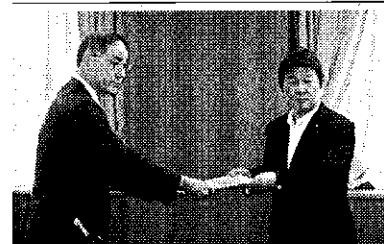
三鷹市民センター周辺地

経産省が可

世界の英知結集へ

明については、3割強が方で、利害関係者への説明についても、約5割が「やや低下・低下」と回答。一方で、約5割が「やや高い一方で、十分に対応できない状況がなし崩しに進行している。あいまいなままで対応するので

ほしい」と求めた。海外企業を積極的に入れるなど、世話を結集して取り組むことで、技術研究組合は企業や大学、独立



福島第一原子力発電所1号機の廃炉に必要な技術開発に当たる。茂木敏充経産相は同日、山名元理事長(京大原子炉実験所教授)に認可書を交付した(写真)。

茂木経産相は山名理事長との会談で、「福島第一の廃炉だけでなく、今後廃止措置を迎える原子炉にも活用できる。関係者が一丸となつて素晴らしい成果を上げてほしい」と期待を表明し、

日建協新

福山、